

第13回在宅看護スキルアップ(出前講座)研修実施報告

開催日時：平成30年1月20日(土)10時30分～11時30分

開催場所：ハウエツ病院

研修内容：褥瘡予防ケア「褥瘡って…？」

講師：つるぎ町立半田病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 谷 玲子 氏

参加人数：33名

ハウエツ病院の地域医療連携室からの依頼を受け、「平成29年度在宅看護スキルアップ(出前講座)研修会」を開催した。地域医療連携室は、かかりつけ医の先生方、種々の介護施設の方、公共機関との連携を図り、良質な医療を提供し、地域に貢献していく為の対応窓口として業務を行っている。今回、美馬市を中心とした連携関係施設からの参加者が多くあり、ハウエツ病院が美馬市管内における連携の中心的役割を担っていることがよくわかった。

【本日の内容】

- 褥瘡とは
- 褥瘡の原因につながるオムツ
- 体位分散とは
- まとめ
- 褥瘡予防・局所治療に活かすスキンケア



<講義風景>

【講義内容】

体圧分散とは

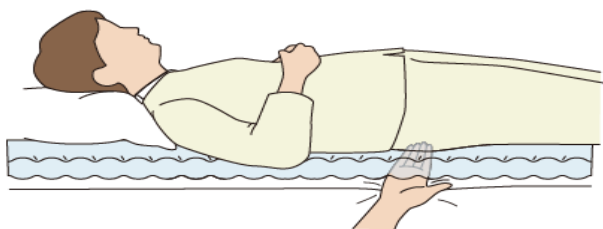
1. 体圧分散寝具選択時の注意点

- ①骨突出がある場合は、二重式エアセルマットレスが有効
- ②45度以上の頭側拳上をする場合は、底付き防止と姿勢保持機能がある厚さ10cm以上の体圧分散マットレスを選択する
- ③大転子部の褥瘡は、TVの位置など居住環境の見直しを行う。
同一体位で居ることが多い。TVを反対位置に設置する

2. ポジショニングの効果

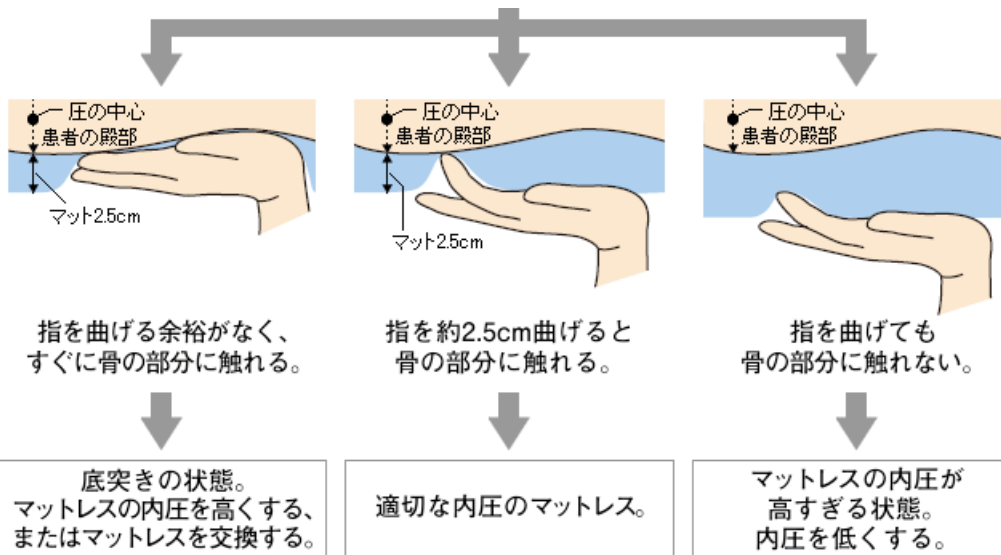
褥瘡対策のほか、拘縮の予防や筋緊張の緩和と調整、姿勢の安定から活動を促す等の効果がある。

3. 体圧分散寝具の底突きの確認方法



手の平を上にし、指をまっすぐにして、マットの下に差し込む。
 圧迫されやすい部位の真下に入れること。

↓
 示指か中指を曲げてみる。



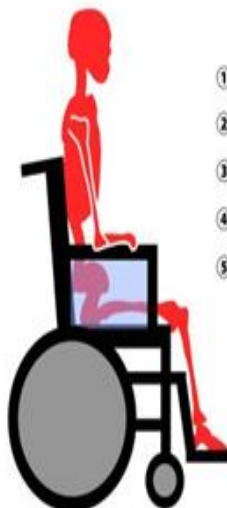
4. 座位姿勢での圧力分散

- ※15分～1時間おきの除圧を！
- ※連続座位時間を減らすために臥位になり時間を組み込む
- ※自分で除圧動作ができない場合は十分な配慮が必要
- ※滑り止めシート・円座・座布団は使用しない
 → 体圧分散クッションを使用する



【演習風景】

車椅子の基本姿勢



- ① 座面の奥行は踵より3cm短く
- ② 座幅はお尻の幅より3-5cm広く
- ③ バックサポートは肩甲骨最下部より10cm短く
- ④ アームサポートの高さは肘の高さより1.5cm高く
- ⑤ フットサポートから床までの距離は5cm高く



【質問風景】

【Q&A】

Q1.仙骨部に大きな褥瘡がある。穴あきビニール袋にペット用シートを使用し、処置を行っているが臭いがある。対処方法は

→ 褥瘡部が感染、炎症を起こしている。ビニール素材により、高温多湿状態が強くなり、褥瘡部が悪化しているので微温湯で洗浄後、おむつを使用してみる。

Q2.褥瘡はポケットを形成している。浸出液はなくなり、ポケット周囲の皮膚が硬くなっている。外科的治療が必要か

- ①微温湯で洗浄し、スキンケアと保湿に心がける。
②肉芽組織が増殖する薬剤を使用する
③栄養状態の改善に努める。

Q3. 褥瘡を予防するための栄養管理について

→ 褥瘡の予防にはたんぱく質、ビタミン、ミネラルなどバランスよく摂取することが大切
たんぱく質、亜鉛、鉄などが含まれている食品、栄養補助食品などを摂取する
経管栄養患者にココアを注入しているのは有効である。

Q4.踵に褥瘡がある。対処方法は？

→ 体位変換は2時間ごとに。ポジショニングピローの位置をずらしてあげる。

Q5.透析患者で仙骨部と踵部に褥瘡がある。踵部の褥瘡が治りにくい。下肢を拳上すると循環不全となる。対処方法は？

→ 踵の予防は除圧が一番である。エアーマットを使用。ポジショニングを行い、除圧に努める。
ポジショニングピローの厚みを調整し、位置を調整する。